

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ノウ

# Network 12 / 1

2022 No.564

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28  
三田国際ビル22階  
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519

JART情報  
<http://www.jart.jp>



## 2022年 JART 10大ニュース!!



1

### 1 本会創設以来初! 上田会長、岸田首相と面談する!

2021年11月24日(水)、本会上田会長は哇元衆院議員(診療放射線技師) 仲介の下、岸田首相との面談を行いました。今回、日本診療放射線技師会創設以来初の、内閣総理大臣との面会が実現しました。本面談では、2021年9月11日(土)にWebで行われた政策ヒアリング時の要望の再確認と、翌日の予算政策懇談会において、富田副会長より本会要望について報告することを首相にお伝えしました。



2

### 2 第38回日本診療放射線技師学術大会(JCRT) 開催される

2022年9月16日(金)から18日(日)まで、第38回日本診療放射線技師学術大会が神戸コンベンションセンター 国際会議場で開催されました。

新型コロナウイルス感染対策により、海外からの来賓・参

加は取りやめとなりましたが、公益社団法人日本診療放射線技師会の主催、公益社団法人兵庫県放射線技師会の共催により「タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう～革新への挑戦～」をテーマに掲げ、前回大会に続きハイブリッドでの開催となりました。採択演題は319演題、参加登録者数は1,751人(会場開催後のWeb開催参加申込者については含まず、9月18日会場開催終了時での数字)となりました。

今回の学術大会に参加いただいた皆さま、企業展示・協賛セミナーなどへご協力いただいた業界各社の皆さま、各都道府県技師会の皆さまに心より御礼を申し上げます。

次年度の第39回日本診療放射線技師学術大会は2023年9月29日(金)から10月1日(日)までの日程で、熊本城ホールにおいてハイブリッド開催される予定です。



3

### 3 第84回公益社団法人日本診療放射線技師会 定時総会 開催される

定款第15条の規定により、第84回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会が2022年6月11日(土)午後1時か

ら本会会議室で、Web会議システムを併用して開催されました。

総会は、富田副会長の開会宣言に続き、上田会長より開会のあいさつ、令和3(2021)年度物故者への黙とうが執り行われました。総会において、令和4(2022)・5(2023)年度役員選任について、議長より代議員の表決数が発表され、候補者全員が過半数以上の承認を得て、新役員として選任されました。第5号議案：会長候補者・副会長候補者の選出について、定款第27条第2項の説明が議長からあり、否決多数で理事会で選定することとなりました。その後、第2回理事会をWeb併用で開催し、総会選出理事の互選により、会長に上田克彦氏、副会長に江藤芳浩氏、富田博信氏、児玉直樹氏が選定されました。

## 4 第2回放射線診療4団体連絡協議会開催される

2022年1月17日(月)、本会事務所会議室とWebを併用して第2回放射線診療4団体連絡協議会が開催されました。出席メンバー(敬称略)は、日本医学放射線学会(JRS)：青木茂樹、富山憲幸、日本放射線科専門医会・医会(JCR)：山田恵、大西洋、高野英行、松林(名本)路花、井田正博、日本放射線技術学会(JSRT)：白石順二、奥田保男、梁川範幸、市田隆雄、JART：上田克彦、江藤芳浩、富田博信、児玉直樹でした。

今回の会議では、本年度下半期における4団体の個々の動きが報告され、JART・JSRTから話題提供のあった小児における生殖腺防護について議論されました。小児の放射線防護を除することの意義は理解されつつも、その実践には保護者(国民)への説明を慎重に検討することの重要性が再確認されました。その納得性を導くためには広報が重要ですが、2023年度の日本医学総会の展示事業を活用することが良案である旨の意見があり、合意されました。

## 5 創立75周年記念式典 挙行される

2022年7月16日(土)午後2時より、経団連会館において創立75周年記念式典が挙行されました。初めに、公益社団法人日本診療放射線技師会の綱領が読み上げられました。主催者を代表して上田克彦会長よりあいさつがあり、本会の創立から75年間を振り返った歴史と、現在の新型コロナウイルス感染症対策への本会の取り組みや、告示研修について述べられました。続いて、祝辞として内閣総理大臣 岸田文雄さま、厚生労働大臣 後藤茂之さまからのビデオメッセージが上映されました。

来賓からは、「国民に最善の医療を届けるために診療放射線技師を支援する議員連盟」の会長を務めていただいている元厚生労働大臣 根本匠さま、厚生労働省を代表して厚生労働副大臣 古賀篤さま、職能団体を代表して一般社団法人日本病院会 会長 相澤孝夫さま、公益社団法人日本医師会 常任理事 釜范敏さま、公益社団法人日本看護協会 会長 福井トシ子さまよりご祝辞を頂きました(役職は7月16日当時)。

その後、厚生労働大臣表彰が執り行われ、各都道府県(診療)放射線技師会から各1人の推薦と日本診療放射線技師会から10人の推薦があり、受賞者は57人でした。代表して成田浩人さまに表彰状が手渡され、受賞者代表謝辞を述べられました。

祝電披露では、公益社団法人日本歯科医師会 会長 堀憲郎さま、公益社団法人日本歯科技工士会 会長 森野隆さま、学校法人国際医療福祉大学 理事長 高木邦格さまなどからのお祝いの言葉が披露されました。また告示研修の実施に当たり支援を頂いた企業を代表して、富士フィルムメディカル株式会社 代表取締役社長 川原芳博さまに上田会長より感謝状が贈呈されました。最後に、日本診療放射線技師会 畦元将吾顧問(当時)より閉会のあいさつがあり式典は終了しました。



## 6 「新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえたワクチン接種・検体採取の担い手を確保するための対応の在り方等に関する検討会」開催される

2022年8月23日(火)および8月31日(水)、厚生労働省において「新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえたワクチン接種・検体採取の担い手を確保するための対応の在り方等に関する検討会」が開催されました。この検討会は、今般の新型コロナウイルス感染症に対する対応を踏まえ、各医療関係職種が普段実施している業務や専門性を勘案して、ワクチン接種などの担い手を確保するための対応の在り方について検討を行うものです。

**7 畦元将吾先生、厚生労働大臣  
政務官に任命される**

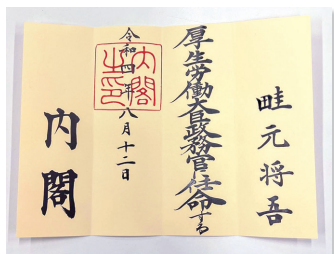
2022年8月12日(金)、診療放射線技師で日本診療放射線技師会顧問である畦元将吾先生が、厚生労働大臣政務官に任命されました。

畦元先生は2019年7月11日、衆議院比例(中国ブロック)で初当選した当初から、現場で働く診療放射線技師や医療従事者の声を正しく伝え、ひいては患者さんのためになるように、関連団体と連携しながら、常に熱意を持って国政に働き掛けてこられました。その結果、国会議員の先生方への診療放射線技師職の認知度は大きく向上し、関係省庁への連携も強く改善されました。

また政経フォーラムなどの活動や、報告会での経過のフィードバックも精力的に行われてきました。

今後もますます国民のためにご活躍されますことを期待しております。

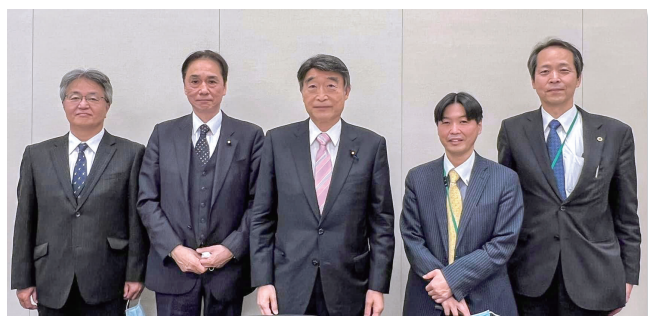
※政務官就任に当たり、本会顧問の職は辞任されています。



**8 「診療放射線技師を支援する議員  
連盟」が発足!**

「国民に最善の医療を届けるために」をスローガンに、診療放射線技師を支援する議員連盟が、畦元将吾衆議院議員ご尽力の下、発足致しました。

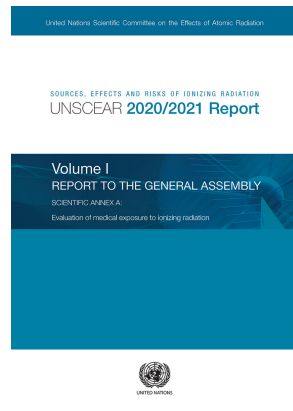
設立総会が2022年3月28日(月)に衆議院第二議員会館第八会議室で執り行われ、元厚生労働大臣の根本匠衆議院議員からあいさつを頂いた後、本会上田会長からもあいさつが行われました。総会の議題として、「診療放射線技師による医療放射線の線量管理と医療安全機器管理の現状」が取り上げられ、本会富田副会長より現状の説明が行われました。議員連盟総会には、国会議員の他に厚生労働省からも参加があり、活発な情報交換が行われました。今後の活動にご注目ください。



**9 UNSCEAR 2020/2021 Report  
に診療放射線技師の名前が掲載  
される!**

UNSCEAR(原子放射線の影響に関する国連科学委員会)が作成する「UNSCEAR 2020/2021 Report Volume I」は、医療放射線に関するGlobal Surveyの報告書になっています。

診断系の「National experts」として、五十嵐隆元氏(国際医療福祉大学成田病院 放射線技術部 副部長)、核医学では、渡邊浩氏(群馬パース大学教授)のお名前が掲載されており、今回の国連報告書にわが国の診療放射線技師2人の名前が載ったこととなります。



**10 自由民主党予算政策懇談会に要望  
を提出する**

2021年11月25日(木)、永田町の自民党本部において、次年度予算政策懇談会が開催されました。懇談会には本会の他、日本臨床衛生検査技師会、日本製薬団体連合会、日本チェーンドラッグストア協会から出席されていました。

懇談会は、厚生関係団体委員長 長坂衆院議員、団体総局長 齋藤衆院議員、厚生労働部会長 牧原衆院議員よりあいさつがあり、その後、各団体のヒアリングが行われました。

本会からは、富田副会長より要望について説明しました。今後、自民党内においても要望を検討していただき、われわれ診療放射線技師の環境改善および国民保健の維持発展につながることを期待します。



## 令和4(2022)年度入魂式 執り行われる

2022年10月1日(土)午後1時30分より、令和4(2022)年度の入魂式が鈴鹿医療科学大学JART記念館前に設置されている顕彰碑で執り行われました。入魂とは、ご逝去された会員の魂を本会顕彰碑に注ぎ込む行事です。初めに、園田理事から令和3(2021)年度の物故会員43人全員の氏名が読み上げられました。続いて上田会長からのお言葉があり、黙とうをささげるとともに、会長、副会長、理事らが顕彰碑に献花・ご焼香を行い、厳粛な雰囲気うちに閉式しました。改めまして、ご逝去された会員の方々に謹んで哀悼の意を表します。



## 令和4(2022)年度中間監査 実施される(ハイブリッド開催)

2022年10月26日(水)午後2時より、本会事務所とWeb参加のハイブリッド形式で監査監事(小川利政監事、小川清監事、梅本啓監事)による令和4(2022)年度中間監査が開催されました。

始めるに当たり上田会長より、withコロナとなって対面の活動が増えており、対面とオンラインの利点を生かしながら事業を展開していくことが報告されました。

次に園田理事より、上半期の庶務報告と事業報告が行われました。報告後に監事から、活動が0回の委員会への事業活動についての指導と、入会促進のため執行部に指導がなされました。

続いて江端理事より、令和4(2022)年度会計の中間報告が行われました。監事からはいくつかの事業項目に対する

収入と支出の差や、未収会費について質問がありました。また上期のため収入と支出に差が生じていること、本年度から会費未納除籍者に対する債権回収を実施することが説明されました。

最後に、監事より①事務局運営の問題点に関する改善策の作成についての評価②事務局の人員不足について早期に改善するように依頼③新任役員の業務引き継ぎなど理事・職員との連携を密にすること——などの講評がなされました。

出席者は上田会長、富田副会長、児玉副会長、江藤副会長、江端理事、園田理事。顧問税理士の高梨喜裕税理士。事務局からは上島事務局長、加藤課長などの関係者が出席し、約2時間にわたり質疑が行われました。

## 自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」開催される

2022年11月8日(火)午後2時30分より、自由民主党本部で令和4年度予算・税制等に関する政策懇談会【医療③】が開催されました。参加団体は本会、日本臨床衛生検査技師会、日本臨床工学技士会、日本製薬団体連合会、日本薬業政治連盟、日本チェーンドラッグストア協会など10団体以上で、各団体3分間の持ち時間で要望書の発表が行われました。

全発表後の意見交換・質疑応答では、ほぼ薬価や薬事に関わる内容が主で、【医療③】は薬事関係の場であると強く感じられました。その中でも、星北斗参議院議員より診療放射線技師の教育年限四年制について、前向きな意見が述べられました。また島村大参議院議員より診療放射線技師の教育年限四年制について、教育機関から異論などはないかとの質問に対し、児玉副会長より、養成機関56施設中、三年制の施設は13校のみで、ほぼ四年制に移行しているが、カリキュ



ラムの95単位から102単位への移行、タスク・シフト/シェアにおける業務拡大に関わる教育内容の増加に伴う授業時間<sup>ひっぽく</sup>の逼迫などに対応すべく、四年制への移行は養成機関の総意であると捉えている旨の回答がありました。

## 第38回日本診療放射線技師学術大会 分科会企画

## 「タスク・シフト/シェアの推進『前立腺癌のIGRT』」開催報告

## 放射線治療分科会

**【名称】** タスク・シフト/シェアの推進 『前立腺癌のIGRT』  
～臨床的意義から読み解く位置照合のポイント～

**【開催日時】** 2022年9月17日(土) 10:35～12:05 (90分)

**【座長】** 小野委員・太田委員

**【演者・講演タイトル】**

1. 中村 和正 先生 「前立腺癌外照射の治療計画と動向」
2. 川守田 龍 先生 「前立腺IMRTにおける一次照合」

**【座長からの話題提供を交えてのディスカッション】**

- ・「みんなで考える一次照合」約5分 (進行役：太田)
- ・「注意!! 動く前立腺」約5分 (進行役：小野)

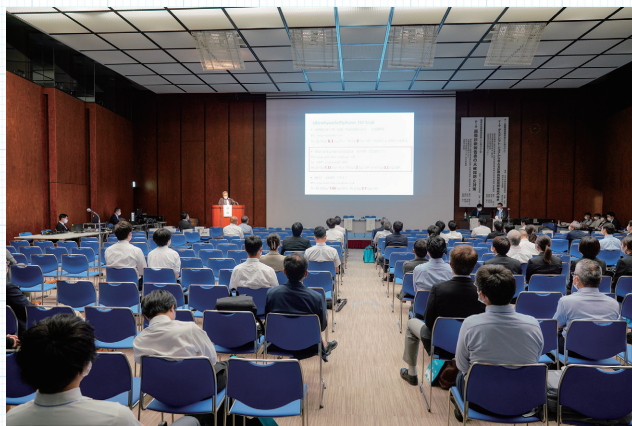
本シンポジウムでは『前立腺癌のIGRT』をテーマとし、タスク・シフト/シェアの一環である「一次照合」について、「患者位置照合における位置変位量が許容範囲内にあるか判定する行為」を医師の具体的指示の下、診療放射線技師がどのようにアプローチすべきかが議論しました。

中村先生からは、前立腺癌の疫学や解剖、特に、好発部位である前立腺尖部のコンツールを行う際の注意点、被膜外や精嚢への浸潤を考慮したCTV設定などを解説いただきました。また吸引式固定具の使用により体の接地面積が増え、体重分散されることを圧センサーにより確認された報告は興味深いものでした。さらに腹臥位時の呼吸性移動についても実験例を紹介いただきました。



中村和正 先生

技師の立場から、川守田先生は治療計画で設定した標的や危険臓器の線量分布を意識した位置照合の必要性を強調されました。特に、被膜外浸潤や精嚢浸潤症例には注意すべきと



の見解でした。また前立腺は周辺臓器の体積変化などの影響で変形しやすいため、排便や蓄尿指導により位置照合時に問題とならないよう、看護師との連携が重要と言及されました。



川守田 龍 先生

総合討論では、太田氏から小腸が前立腺と直腸の間に「落ち込んでくる」症例について、照射時の画像確認により再計画を行った経験や、蓄尿量が計画時と異なるために小腸が高線量側へシフトした症例などが提示され議論を行いました。また小野氏からは、呼吸性移動に関する話題提供があり、胸式・腹式呼吸や、シエルの有無により前立腺の動きが異なる動画が紹介されました。その結果、治療時の呼吸は患者の安楽に配慮した指導が必要という見解が示されました。特に(超)寡分割の照射の場合、呼吸指導も重要となり得るというコメントを中村先生から頂いたことが印象的でした。

今後、タスク・シフト/シェアの推進に当たり、医師を交えた議論と情報共有がさらに重要になると考えます。放射線治療分科会では、引き続き一次照合をテーマとした企画を計画する予定です。

# 第18回中四国放射線医療技術フォーラム (CSFRT2022) 開催報告 (ハイブリッド開催)

第63回 公益社団法人 日本放射線技術学会 中国・四国支部学術大会  
第30回 公益社団法人 日本診療放射線技師会 中四国診療放射線技師学術大会

2022年10月15日(土)・16日(日)の2日間、「未来をよむ～The NExT Future～」をテーマに、愛媛県の松山市総合コミュニティセンターで第18回中四国放射線医療技術フォーラム(CSFRT2022)を開催致しました。本フォーラムは第63回日本放射線技術学会 中国・四国支部学術大会と第30回日本診療放射線技師会 中四国診療放射線技師学術大会の合同開催として、すでに18回を数える学術集会となっております。これまでのコロナ禍による中止、開催形式の変更など、両会で苦しい時期を乗り越え対面での開催を迎えることができました。

先の見えない新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況とその対応により、現地参加が難しくなる可能性など、事前に解決できない多くの不確定要素によるトラブルへの対応と同時に、同時刻開催のセッションなど時間的制約による聞き逃しにも対応するため、対面開催と大会終了後のオンデマンド配信での開催としました。

特別講演では、愛媛大学医学部附属病院 放射線医学講座 城戸輝仁教授より「放射線技術の未来をよむ」と題してご講演いただきました。そしてJART会長講演では、上田克彦会長より「社会の変化と診療放射線技師」と題して、**告示研修、STAT画像報告、性腺防護の国際動向**など、われわれが向かう未来に向けて、多くの情報をご教示いただきました。また業務改善推進委員会が企画したJART特別講演では、児玉直樹副会長より「変化にそなえる～タスクシェアに向けて～」と題し、ご講演いただきました。

本大会は、一般演題110題、JART会長講演・JSRT代表理事講

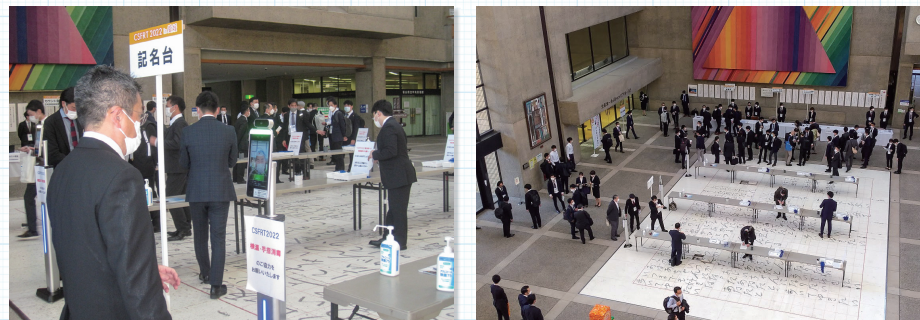
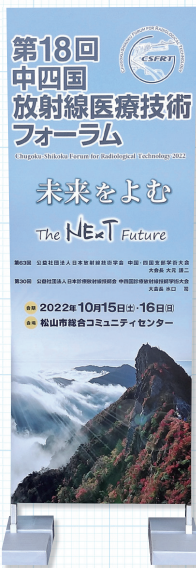


第1会場

演・特別講演・大会企画講演・モーニングセミナー・ランチョンセミナー・JART特別講演・JSRT特別講演など盛りだくさんのプログラムとなりました。さらに「心臓、げんきですか!!!」をテーマに市民公開講座も開催致しました。

今回、入場時の検温、受付時の体調チェック、手指消毒の徹底など、これまでとは違った準備も必要となりましたが、幸運にも新型コロナウイルス感染症の第7波の感染者数が目に見えて減少したタイミングと天候にも恵まれ、総参加登録者数586人中、現地参加は400人を超え、「コロナ前のワクワク感が戻ってきたね!」「地方会はやはり対面が良いですね!」と、久しぶりの再会を喜び笑顔が溢れる学術大会となり、盛会のうちに終えることができました。

最後に、本大会に関わっていただいた多くの皆さまに心から感謝申し上げます。本大会が次につながる大会になったものと確信し、開催報告とさせていただきます。



受付の様子

## 2022年度 公益社団法人日本診療放射線技師会 北海道地域学術大会 開催報告 (ハイブリッド開催)

一般社団法人北海道放射線技師会 西原 徹

2022年10月22日(土)・23日(日)の2日間、札幌医科大学講堂でZoomウェビナーを併用して北海道地域学術大会を開催致しました。会場での参加者は1日目58人、2日目34人、ウェビナーの登録者は211人(2日間共通)でした。

初日は一般演題発表を11題行いました。日本診療放射線技師会より学術奨励賞を、北海道放射線技師会からは特別賞を、創意工夫・実用性・発展性などの観点から各1演題選考致しま



した。特別講演では、日放技骨関節撮影分科会招聘セミナー「X線撮影の再構築 ～X線撮影が変わる～」と題して、安藤英次先生に、教科書には載っていないが現場では必要とされる「立位による荷重撮影の重要性」について詳しくご講演いただきました。

2日目は、北海道放射線技師会 腹部領域部会ワークショップ「HCCの画像診断A to Z」の内容で、MRエラスト・超音波・Dynamic CT・EOB MRI・手術支援CTについて、HCCという疾患を題材に6人の部会員に検査法やピットフォール



などについて解説していただきました。総合討論では活発な意見交換を行うことができました。

昨年に引き続きWeb併用での開催でしたが、回線トラブルもなく、質疑応答などもQ&Aを利用してスムーズに活発に行えました。広大な北海道という地域性もあり、会場参加とWebの併用による開催は、この先も会員に必要とされることと思います。今回は会場に北海道外からの参加者もいらっしゃいました。これからも多くの会員に参加していただけるよう企画・運営を行ってまいります。

### 2022年 秋の叙勲受章者 —おめでとうございます—

INFORMATION



旭日双光章 北村 善明 (埼玉県)

瑞宝双光章 大川 渡 (兵庫県)

仲地 尚樹 (沖縄県)

廣瀬 久司 (富山県)

山岡 英生 (香川県)

岡田 富貴夫 (岐阜県)

田原 誠司 (岡山県)

大久保 光男 (鹿児島県)

中野 寿夫 (埼玉県)

藤田 源之丞 (東京都)

渡邊 優 (神奈川県)

轟 英彦 (大阪府)

笹川 泰弘 (香川県)

大屋 博宣 (神奈川県)

板東 孝典 (徳島県)

前谷津 文雄 (宮城県)

横田 浩 (茨城県)

西田 輝彦 (兵庫県)

楠木 雅巳 (徳島県)

枚田 敏幸 (滋賀県)

圓子 恵造 (岩手県)

安中 靖 (東京都)

上野山 文男 (奈良県)

(敬称略・順不同)

INFORMATION

第2回 第39回日本診療放射線技師学術大会 (39th JCRT)  
第30回東アジア学術交流大会 (30th EACRT)

熊本への道 Go To KUMAMOTO

実行委員長 緒方 隆昭  
(一般社団法人熊本県放射線技師会 副会長)



今後、このコーナーで熊本の魅力や観光案内があると思いますので、第2回は、皆さまをお迎えする会場について紹介します。第39回日本診療放射線技師学術大会の会場である熊本城ホールは、複合商業施設であるSAKURA MACHI Kumamotoに併設されています。熊本桜町バスターミナルに直結していて、熊本駅や阿蘇くまもと空港へはとてもアクセスの良い施設です。

熊本地震から6年を経て、熊本城をはじめホテルや商業施設は徐々に再開しています。陸の玄関口である熊本駅は、2021年4月に新駅ビルが開業して賑わいを取り戻し、空の玄関口である阿蘇くまもと空港も、国内線/国際線一体の新たな旅客ターミナルビルが2023年3月にリニューアルを控えていますので、来年の秋においでの際は新しい空港でお迎えます。

併設する複合商業施設の名の由来は、江戸時代、山桜が多かった“桜馬場”熊本城二の丸の一部に架かる桜橋にちなんでいて、熊本城の城下町として熊本県民に永く親しまれた由緒ある「桜町」という地名を冠する名称です。熊本城ホールはその施設の左奥に位置していて、3千人規模の大規模な学会がカーサで行える待望の施設として2019年11月にオープンした新しい施設です。

今回の学会は、Web参加者に対する配信コンテンツの充実を図りつつ、現地型学術大会の本格的な復活を目指したハイブリッド開催にしていきたいと考えています。渡航の再開に伴い30th EACRTも国内で再開され、たくさんの東アジアの方々がお見えになると期待しています。皆さまから要望の多い懇親会も再開します。以前のように、各県から自慢のお酒を持ち寄ってのにぎやかで楽しい宴を準備したいと考えています。

感染状況の悪化に伴い計画の変更を余儀なくされる可能性はまだゼロではありませんが、実行委員一同、計画通り成し遂げられると信じ、皆さまの記憶に残る素晴らしい学会になるよう鋭意準備してまいりますので、ぜひとも現地熊本にご参集賜りますようお願い申し上げます。







# 第39回 39th Japan Conference of Radiological Technologists 日本診療放射線技師学術大会

会期 | 2023年9月29日[金]～10月1日[日]

会場 | 熊本城ホール  
[ハイブリッド開催]  
〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3-40

会長 | 上田 克彦  
[公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長]

大会長 | 西小野 昭人  
[一般社団法人 熊本県放射線技師会 会長]

主催 | 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 | 一般社団法人 熊本県放射線技師会

後援 (予定) | 厚生労働省 / 日本放射線技術学会  
熊本県 / 熊本市

～タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう～

## 復興の地から はじまる 技術革新



©尾田栄一郎/集英社

熊本地震から復興に向かう熊本に対して尾田栄一郎氏から「必ず助けに行く」というメッセージをいただき「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」が立ち上がりました。復興が進む熊本で学術大会を開催するにあたり、地震からの復興を応援するために「ONE PIECE 麦わらの一味」の銅像を使用させていただきました。

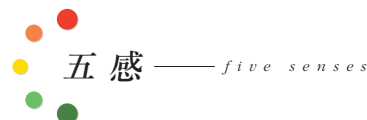
大会事務局



一般社団法人熊本県放射線技師会

〒861-8528 熊本県熊本市東区長嶺南2-1-1 日本赤十字社熊本健康管理センター 放射線課内 TEL・FAX (096)386-1388

## 学術大会が終わり、伝えたい思い

シリーズ連載  
series serialization

無事に兵庫（神戸）の大会を成功裏に終わらせることができましたのは、会員の皆さまのご尽力と分科会や各種学会の皆さまから協力いただいたおかげです。また多くのことを助けていただき、心より感謝申し上げます。メリットが多い大会になるように、『タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう』をテーマに、日々の問題点など多くのことを学べ、皆さまの疑問に思っていることが確信に変わった大会になったと感じています。

県内の病院からも「技師の静脈注射が始まった」「アンギオでの医師のアシストをしています」との声を聞き、仕事の幅を広げることで『成長』を実感できる状況が理解でき、さらなる業務拡大の必要性も感じました。

大会を始める前はかなり不安もありましたが、皆さまの温かい包容力と多大な協力が得られると信じていましたので、何とか終了へとたどり着けたと思っています。

（診療）放射線技師会を通じ、方向性が同じ多くの先輩方と接し感じたのが『成長計画』です。今回の大会の計画・プランは2年ほど前から始まっていますが、人生には5年・10年先を考えたプランが絶対必要だということです。最近、管理職などの経験を生かした『セカンドキャリア』という言葉をよく耳にします。もちろん今の業務が充実し、ずっと継続可能なら問題はないのですが、どういった状況になるかわかりませんし、またさらなる能力の可能性もある方も多くいると思います。目指すキャリアをかなえるための道筋『キャリアパス』を考えておかなければ、専門的な技師としての成功はないと感じました。

最後に、大会では無理なお願いをすることも多々ありましたが、いつも快くお引き受けいただきましたことに重ねてお礼申し上げます。これからも多くの皆さまと別のプロジェクトで一緒できますことを楽しみに、さらなる活発な事業展開を期待したいと思います。（文責：後藤 吉弘）

## 12月・1月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 放射線治療分科会生涯教育セミナー（基礎編）： Web開催 2023年1月22日（日）
- 骨関節撮影分科会セミナー： Web開催 2023年1月27日（金）
- 画像等手術支援認定講習会： Web開催 2023年1月29日（日）

### 【e-ラーニング（ストリーミング方式）】

- 告示研修（基礎研修） 2021年7月31日（土）午前0時から申し込み受け付け  
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格失効者講習会（在宅）
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修
- オンラインセミナー（在宅） 2022年12月20日（火）午後11時59分まで申し込み受け付け  
※お申し込み成立の日から2023年1月28日（土）まで何度でも視聴いただけます。
  - ・ラダーレベル1、2
  - ・マネジメントラダーレベル3
- Ai認定講習会

「業務拡大に伴う統一講習会」「診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース（会場型）」「告示研修（実技研修）」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/2022\\_schedule.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/2022_schedule.html)
- 「診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース（会場型）」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/ib0rgt0000081c3.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000081c3.html)
- 「告示研修（実技研修）」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/kokuji\\_schedule\\_2022.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/kokuji_schedule_2022.html)

事務所  
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。  
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。